

第 2630 地区 多治見西ロータリークラブ



WEEKLY REPORT



← 白馬（長野県）隅谷洋里写

第 48 期会長テーマ
ありがとう 広がる笑顔 奉仕の心

第 2317 例会 2014 年 2 月 13 日（木）

2 月は世界理解月間

例会日 毎週木曜日
例会場 産業文化センター
事務局 多治見市新町 1-23
産業文化センター 4F
TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101
Eメール n-rc@joy.ocn.ne.jp
HP <http://tajiminishi.jimdo.com/>
会長 伊藤義弘 幹事 齋藤明

本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング 我らの生業
四つのテスト

会長挨拶

出席・スマイル報告

委員会報告

その他報告

幹事報告

卓話者紹介 米山奨学委員会担当
谷口津富君

卓話 鈴木康俊様（元会員）
「ジニ係数と預金残高」

点 鐘



卓話者ご紹介

鈴木康俊様

生年月日 昭和 25 年 6 月 7 日

職歴

昭和 49 年 3 月 立命館大学法学部卒業

昭和 49 年 4 月 多治見信用金庫へ入庫

平成 14 年 4 月 本店営業部長に就任

平成 17 年 6 月 常勤理事就任

平成 22 年 6 月 定年退職

平成 23 年 1 月 個人事務所開業

1 級フィナンシャルプランニング技能士

書籍「ディスクロ誌から信用金庫経営を診る」

「雨の日のカップほど、惨めなものはない」

着信書類

・ ローターアクトより第 39 期活動計画書
2013～2014 年度クラブターゲット 「新風」

来週(20日)のお知らせ

卓話 国際奉仕委員会担当 服部賢治君
「苗栗 RC との姉妹提携 40 周年記念式典の報告」

理事会報告

- ① 親睦花見例会について
日時：4月10日(木)点鐘午後6時
場所：ボン・マリアージュ
会費：3,000円
- ② ローター財団年次寄付収支報告
- ③ 3市6RCについて
各クラブへの案内済み
会場受け入れ最大144名 16卓×9
(席不足の場合は西クラブ会員に協力して頂く)
- ④ 協賛金について
ポリオ撲滅新春チャリティコンサート
チケット購入の協力
2月21日(金)午後6時15分開演
場所：名古屋市電気文化会館
協力枚数8枚 承認(スマイルより)
- ⑤ 事務所のパソコンについて
XPサポートが4月で終了するため
見積りを取る。

先週の記録

◆ 出席報告

会員数38名 免除者5名 出席義務者33名

出席者	欠席者	出席率
30名	4名	88.23%

◆ スマイル報告

投函者26名 金額27,000円

つたない私の卓話ですがよろしくお願ひします。

伊藤正雄

本日例会終了後、第1回地区大会実行委員会2時よりを行います。出席義務者の方はお残り下さい。

松本昇

委員会報告

Rアクト委員会より

ローターアクトクラブは1月26日(日)多治見駅前献血の呼びかけとティッシュの配布と新聞社を呼んでの広報活動を行いました。彼らは人数が少ないなりに頑張って活動しております。

苗栗扶輪社訪問とホーチミン研修

15日(土)	産業文化センター 6:15 集合 9:50 発 台北へ 苗栗市公所児童書画合同展示会 姉妹提携40周年記念式典
16日(日)	台北からホーチミンへ
17日(月)	ホーチミン観光 統一会堂 聖母マリア教会 中央郵便局 歴史博物館 永厳寺 等
18日(火)	台北から帰国

人口の話

伊藤正雄

① これまでの人口動態について

日本は人口が減少したのは過去2回、平安時代から鎌倉時代の500年間と江戸時代の80年間です。明治以降の150年間人口は急増1億2千万人になったが、今後人口は減少する

2010年	1億2800万人
2030年	1億1660万人
2060年	8670万人

15歳～64歳を生産年齢人口

0歳～15歳を年少従属人口

65歳以上を老年従属人口

生産年齢を100として場合老年人口は

2013年 → 4人に1人

2035年 → 3人に1人

2060年 → 7人に1人

生産年齢人口は1995年8660万人がピークになり2070年には5080万人に減少する。当面は高齢人口増加、生産年齢人口減少、総人口減少。

② 人口オナーズについて

オナーズとは重荷のことを言います。現在の日本は生産年齢人口が減少し少子高齢化しています。生産年齢人口の増加を期待すると→期待成長率を高める→企業の設備投資需要の拡大→家計の所得増加の期待→消費の拡大する。

今後、高齢者の労働参加を増大させる政策が望まれます。

③ 不動産市場と人口動態について

新設住宅を2000年半ばまでは120万戸の家を建築していましたが2007年以降の建築基準法の改正及びリーマンショックで90万戸になっています。1980年代の建物を中心に建替時期であります。現在はリフォーム中心であったり、長期優良住宅の出現で建替サイクルが長期化しています。2014年前半までは震災に伴い先送りされた着工の顕在化、消費税率引き上げ等から一時的に住宅着工数は増加しますが、2020年頃には世帯数減少が予想され新規需要も減少になる。

人口増加(人口ボーナス期間)→住宅着工増加
人口減少(人口オナーズ期間)→住宅着工減少
(卓話資料より抜粋)

今後の予定

2月20日(木)卓話 服部賢治君

「苗栗RCとの姉妹提携40周年記念式典の報告」

2月22日(土)多治見リバーサイドRC移動例会

古屋大臣の卓話 食事 12:00～
点鐘 12:40～

産業文化センター3F 中会議室

2月27日(木)お祝い例会

